

令和8年度千葉県相談支援従事者現任研修カリキュラム

(特非) 千葉県精神障害者自立支援事業協会

【1日目】講義：オンデマンド配信

時間	カリキュラム	担当者
約15分	ガイダンス	事務局
約70分	【講義（行政説明）】「障害福祉施策の動向について」	県担当
約65分	【講義】 「意思決定支援に着目した個別相談支援の理論と実践」	社会福祉法人 ワーナーホーム 山岡 功平
約65分	【講義】「多職種連携とチームアプローチの理論と実践」	有限会社 あいの手介護サービス 小林 幸夫
約65分	【講義】「コミュニティワークの理論と実践」	特定非営利活動法人 リンク 吉井 稔
約65分	【講義】 「スーパービジョンによる人材育成の理論と方法」	社会福祉法人 フラット 飯ヶ谷 徹平
約15分	インターバル及び演習オリエンテーション	事務局

※【インターバル（実地研修）】

- ①：受講生自身が関わっていて悩んでいるケース（例：支援目標や方針が見えにくい事例、チームアプローチや地域との連携が必要と思われる事例など）について事例一式（相談受付票・アセスメント票・サービス等利用計画書・週間ケア計画書）の書式を作成し、演習1日目に1部持参する（ZOOM演習時は手元に用意しておけばよい）、また演習2日目には8部持参する。

※ 健康状態の悪化や虐待など危機介入が必要な事例、福祉的支援を拒否し関係が構築できていない事例、主相談者が本人ではない事例などは避ける。

【演習1日目】講義及び演習（ZOOMによるリモート開催）1グループ7名

時間	カリキュラム	担当者
受付	（ZOOM入室可）8:45～ （ZOOM困難者用小規模会場）9:00～受付開始	
9:15～9:30(15)	ガイダンス（ブレイクアウトルーム入退室練習含む）	演習リーダー（全体に1名） ファシリテーター（各グループ（ブレイクアウトルーム）に1名配置）
9:30～9:50(20)	【導入講義（振り返り）】 「意思決定支援に着目した個別相談支援の理論と実践」	
9:50～10:50(60)	【演習】「セルフチェックとグループ内での共有（自己紹介含む）」 ワークシート1 ・演習リーダー説明～セルフチェック（10分） ・グループ（ブレイクアウトルーム）内自己紹介(15分) ・セルフチェックの結果について、グループ内意見交換(35分) この日は進行役をファシリテーターが行う	
10:50～11:00	（休憩）	

11:00～12:00 (60)	【演習】「事例発表(報告用)ワークシートの作成」 ワークシート2 午後の発表に備え、インターバル課題①で作成した事例について、ワークシートを用いて5分程度で報告する事例の要点を整理する。(演習リーダー説明 → 個人作業)	
12:00～13:00	(休憩)	
13:00～16:30 (195) + 休憩 (15)	【演習】「事例報告及び検討(インターバル課題①)」 グループで各自が5分間で事例を報告し、進行役(ファシリテーター)や他の受講生からの質問や意見を受け、インターバルで実施するケースレビューに向けたポイントの整理を行う。 <u>(意見交換はインターバルでの発表に向けて、5分の報告を効率よくするための工夫や、盛り込んだ方がいい点、参加者としてもっと訊いてみたい点などを確認し合う内容とする、手立てや対応の案には触れない。)</u> ・演習リーダー説明(5分) ・グループ(ブレイクアウトルーム)内各発表(事例発表5分→進行役(ファシリテーター)から要点確認5分→意見交換15分)計25分×7名 ・途中休憩は各グループで設定 ・最初なので各自の事例発表が伸びてしまう可能性あり、15分の調整時間を加えています	
16:30～16:45 (15)	インターバルオリエンテーション	

※【インターバル(実地研修)】

②: ①について演習1日目で作成した**ワークシート2**を用い、その際の助言等も踏まえ、基幹相談支援センター等(委託相談・機能強化I型事業所・協議会の相談部会)に事例を提供し、ケースレビュー(事例検討やSV)を受ける。そこで受けた助言や気づき等をワークシート2に追記し、演習2日目に8部持参する。(①で作成した相談受付票・アセスメント票・サービス等利用計画書・週間ケア計画書も8部持参する)

③: 研修開始～3日目までの間に、地域の自立支援協議会の活動を見学参加し、レポート**インターバルワークシート**を作成し、演習3日目に8部持参する。(レポート内容は、地域自立支援協議会の組織や開催状況、活動内容、自分が参加した会の活動内容など)

【演習2日目】講義及び演習(会場での対面開催) 1グループ7名

時間	カリキュラム	担当者
受付	8:45～	
9:15～9:25 (10)	ガイダンス	
9:25～9:45 (20)	【導入講義(振り返り)】 「チームアプローチと多職種連携」	演習リーダー(全体に1名)
9:45～10:25 (40)	【演習】「セルフチェックとグループ内での共有」 ワークシート3 ・セルフチェック(5分) ・自己紹介(10分) ・<u>この日と3日目のグループスーパービジョン体験演習までの進行役(1名)を決める</u> ・セルフチェックの結果について、グループ内で意見交換(25分)	ファシリテーター(1ファシリが2グループを担当)
10:25～10:40	(休憩)	
10:40～11:50 (70)	【演習】「実践報告(インターバル課題②)」 ① インターバル期間に基幹相談支援センター等で受けたケースレビ	

11:50～12:50 (昼休憩)	ユーや、その後実際に行った支援等を報告し、意見交換を行う。 ・ 演習リーダー説明 (10 分) ・ 1 人 20 分 (発表者：ケースの概要報告 5 分・インターバルで得られた助言や気づき、その後の対応や変化など 5 分 → グループ内意見交換 10 分) × 7 名 ・ 進行役はグループ内の進行役が行う。 ・ 1 事例当たり 20 分の時間はきちんと取る。	
12:50～14:35 (105)	② (一周後)事例の中から演習 3 日目のグループスーパービジョン体験演習で取り組む事例を選出する。(10 分) ※ 事例の選出はチームアプローチや地域資源の活用など、地域支援の展開について協議ができる事例を選出する。 ③ 演習 1 日目での整理～インターバルでケースレビューを受けた一連のプロセスについて、感想や考察をグループ内で共有する(15分)	
14:35～14:50	(休憩)	
14:50～15:10 (20)	【導入講義 (振り返り)】「スーパービジョン」	
15:10～16:00 (50)	【講師ロールプレイ (実演)】グループスーパービジョンの実践例 ・ 演習リーダー説明 (10 分) ・ 実演動画視聴 (30 分) ・ 演習リーダー説明 (10 分)	
16:00～16:30 (30)	【演習】「意見交換 (スーパービジョンについて)」 振り返り講義や前段の実演 (動画) を受け、スーパービジョンについて、気づきや考察また事業所や各地域での取り組み等の共有・意見交換を行う。また 3 日目に行う<u>体験演習の進行役</u>も決める。	
16:30～16:45 (15)	演習まとめ	

【演習 3 日目】講義及び演習 (会場での対面開催) 1 グループ 7 名

時間	カリキュラム	担当者
受付	8:45～	
9:15～10:35 (80)	【演習】「グループスーパービジョンの体験演習」2 日目に決めた共通事例について各グループで体験演習する。 ① 演習リーダー説明 5 分→役割確認 5 分→受講生ロールプレイ (途中で区切りながら) 45 分→グループ内振り返り 10 分 ② 全体発表 (15 分) <u>発表は進行役が事例提供者</u>	演習リーダー (全体に 1 名) ファシリテーター (1 ファシリが 2 グループを担当)
10:35～10:50	(休憩)	
10:50～12:10 (80)	【演習】「自立支援協議会 (インターバル課題③)」 <u>インターバルワークシート</u> <u>残りの演習 (協議会～コミュニティワーク) の「進行役」と「発表者」を決める</u> 各自が参加した自立支援協議会について報告する。(演習リーダー説明 10 分) → (グループ内 1 人 10 分 × 7 名 (相互の質問や意見交換含む))	
12:10～13:10	(休憩)	
13:10～13:30 (20)	【導入講義 (振り返り)】「コミュニティワーク」	
13:30～14:30 (60)	【演習】「コミュニティワーク①」 <u>ワークシート 4</u> (演習リーダー説明 10 分) 地域変革のためのヒアリングシートを用いて、各自が取り上げた事例について、利用者からみた地域資源、地域アセスメントを実施する (個人作業 (15 分) → グループ内発表 (1 人 5 分 × 7 名))。	

14:30～14:45	(休憩)	
14:45～16:05 (80)	【演習】「コミュニティワーク②」 ワークシート5 グループスーパービジョンで取り上げた事例について、付箋や模造紙を活用してグループで「地域資源の展開」について相談支援専門員の行動プラン（十文字表）を作成する。 ・ 演習リーダー説明（10 分） ・ グループ演習（50 分） ・ 全体発表（20 分）	
16:05～16:45 (40)	研修まとめ（グループ内意見交換 20 分＋全体発表 10 分）	
16:45～16:55 (10)	修了証書交付	